

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-142	24-002	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
The association between alcohol retail access and health care visits attributable to alcohol for individuals with and without a history of alcohol-related health-care use 多量飲酒およびアルコール使用障害の有無別にみた酒類小売へのアクセスと飲酒に起因する病院受診との関連		
<b>執筆者</b>		
Myran DT, Friesen E, Talarico R, Gaudreault A, Taljaard M, Hobin E, Smith BT, Schwartz N, Giesbrecht N, Crépault JF, Tanuseputro P, Manuel DG.		
<b>掲載誌</b>		
Addiction. 2024 Sep;119(9):1554-1563. doi: 10.1111/add.16566.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
酒類小売、アクセス、多量飲酒、救急外来	38804474	
<b>要旨</b>		
<b>目的:</b> 多量飲酒およびアルコール使用障害の有無別に酒類小売へのアクセスと飲酒に起因する救急外来および外来受診との関連を明らかにする。		
<b>方法:</b> カナダオンタリオ州の公的保険に加入する全住民(10,677,604人 2013年)を対象に2013-2019年の4半期毎の飲酒に起因する救急外来および外来受診回数と、地域毎の酒類小売へのアクセススコア(最寄りの7店舗までの平均ドライブ距離)を計算した。地域レベルの社会人口統計学的因子を調整した混合効果線形回帰モデルを使用して、酒類小売へのアクセススコアの十分位による飲酒に起因する病院受診のrate ratio (RR)および95%信頼区間(95%CI)を算出した。さらに、過去2年間に多量飲酒およびアルコール使用障害の有無別に層別分析を行った。		
<b>結果:</b> 飲酒に起因する救急外来受診は437,707件、外来受診は505,271であった。酒類小売へのアクセススコアが最も低い第1十分位と比較するとアクセススコアが最も高い第10十分位の救急外来受診頻度は39%高く(RR(95%CI)=1.39(1.20-1.61)、外来受診頻度は49%高かった(RR(95%CI)=1.49(1.26-1.75))。過去2年間に多量飲酒およびアルコール使用障害の経験がない者にはアクセススコアと外来受診頻度に正の関連を認めたが、アルコール使用障害の経験者には2者間に関連を認めなかった。一方、救急外来受診頻度は過去のアルコール使用障害の経験の有無に関わらず酒類へのアクセススコアと正の関連を認めた。		
<b>結論:</b> 酒類小売へのアクセススコアが高いほど救急外来および外来受診頻度も高い。アルコール使用障害の経験がない者は、アクセススコアが高いほど救急外来より外来受診頻度が高い。		